



地域医会だより

県央皮膚科医の会

平成24年度も県央皮膚科医の会としての活動は残念ながらありませんでしたが、今年度は何とか会を設けたと思っています。また、県央皮膚科医の会は綾瀬市、大和市、座間市、海老名市の4市から構成されていますが、そのうちの大和市では医師会長からの「皮膚科専門医でない先生でも皮膚科の診療をしている場合が多く、その様な先生方が皮膚科の勉強をする機会を作るため大和市の皮膚科医会を設立するように」との依頼があり、大和市の皮膚科医会を設立しました。講演会は下記のとおり開催いたしました。

●第1回大和市皮膚科医会

日時：平成24年3月31日（土）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：内臓疾患に伴う皮膚病変（デルマドローム）について

講師：齊藤典充先生（横浜医療センター皮膚科部長）

●第2回大和市皮膚科医会

日時：平成24年10月20日（土）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：日常診療で膠原病を見出すポイント～皮膚潰瘍などの皮膚病変の治療も含めて～

講師：新井 達先生（北里大学医学部皮膚科講師）

（文責：矢口 厚）



地域医会だより

横浜市皮膚科医会

平成24年度の例会は恒例通り3回開催され、第131回例会では特別講演として、日本医科大学北総病院皮膚科准教授幸野健先生のユニークな視点からのアレルギー疾患全般にわたる話題とトータルマネージメントについてのご講演がありました。医療機関における暴力対応は個人ではなく、組織として対応することの重要性を強調されました。第132回例会は神奈川県皮膚科医会との共催で行われ、担当幹事は蒲原毅先生で、帯状疱疹をテーマとした例会でした。第133回例会では、特別講演として鳥根大学の千貫祐子先生による食物アレルギーの最新情報として、茶のしづく石鹼による加水分解コムギのアレルギーの詳細なお話と、エビアレルギー、および子持ちカレイじんましんと牛肉アレルギーの交差反応についてのご講演でした。例会で恒例の「企画」3講演が行われ、蒲原毅先生による皮膚科専門医試験解説では正解困難な問題、不適切な問題の提示もあり、今

後も専門医試験問題のチェックが必要と感じさせられました。浅井俊弥先生による保険関連話題では時間外対応加算、一般名処方加算、足底手術の露出部加算への変更、稗粒腫処置加算などについての解説がありました。杉田泰之先生は抗うつ剤（SSRI）に伴う話題をとりあげ、自殺増加との関連、論文・記事のゴーストライター問題などについて講演されました。また、毎年3月第2日曜日開催の市民公開講座は4回目となり、本年度は横浜市立大学の猪又直子先生のご講演があり、参加者は64名でした。

以下に、平成24年度に行った事業内容を列記しました。

1. 例会

●第131回横浜市皮膚科医会例会・総会

日 時：平成24年4月7日（土）

場 所：関内新井ホール 出席者63名

企 画 1：「専門医試験からのピックアップ解説」

講 師：蒲原 毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

企 画 2：「診療報酬改定のポイント」

講 師：浅井俊弥（浅井皮膚科クリニック）

特別講演：「アレルギー疾患のトータルマネージメント：悔いと恨みを残さないために」（座長：高橋泰英）

講 師：幸野 健先生（日本医科大学北総病院皮膚科准教授）

生涯講座カリキュラムコード 2、5、36、73

●第132回横浜市皮膚科医会例会、第139回神奈川県皮膚科医会例会

日 時：平成24年7月1日（日）

場 所：関内新井ホール 出席者139名

担当幹事：蒲原 毅先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

テーマ「带状疱疹」

ミニレクチャー：「病院で診た皮膚細菌感染症」（座長：毛利 忍）

講 師：小野田雅仁先生（おのだ皮膚科）

講 演 1：「急性期带状疱疹のマネジメントーその合併症と疼痛対策ー」（座長：蒲原 毅）

講 師：安元慎一郎先生（安元ひふ科クリニック院長）

講 演 2：「带状疱疹後神経痛に対する痛み治療」（座長：清 佳浩）

講 師：世良田和幸先生（昭和大学横浜市北部病院麻酔科教授）

生涯講座カリキュラムコード 6、19、30、38、73

●第133回横浜市皮膚科医会例会

日 時：平成24年10月18日（木）

場 所：ホテルプラム・コスモY 出席者54名

企画「皮膚科ヒヤリ・ハット事例報告、トラブルを未然に防ぐため

抗うつ薬（SSRI）と自殺に関する議論について・皮膚科医も知っておくべき社会問題」（担当：杉田泰之）

特別講演：「食物アレルギー Update ～茶のしづく石鹼の問題を中心とした食物アレルギーの最新情報～」

（座長：山川有子）

講師：千貫祐子先生（島根大学医学部皮膚科助教）

生涯講座カリキュラムコード 1、2、15

2. 例会以外の会

●横浜市皮膚科医会学術講演会

日 時：平成24年5月24日（木）

場 所：パンパシフィック横浜ベイホテル東急 出席者44名
演 題：「足白癬治療を再点検する」（座長：川口博史）
講 師：常深祐一郎先生（東京女子医科大学皮膚科教室講師）
生涯講座カリキュラムコード 1、82

●横浜市皮膚科医会学術講演会

日 時：平成24年9月20日（木）
場 所：崎陽軒 出席者35名
演 題：「Q-switched Laserシミの治療」（座長：毛利 忍）
講 師：山下理絵先生（湘南鎌倉総合病院形成外科・美容外科部長）
生涯講座カリキュラムコード 2、5

●第4回横浜市皮膚科医会市民講演会

日 時：平成24年3月10日（土）
場 所：情文ホール 参加者64名
演 題：「食物アレルギーとその対策」
講 師：猪又直子先生（横浜市立大学皮膚科准教授）

●横浜市医師会の学術活動

健康最前線「ありがとッ！」tvkテレビ
日 時：平成24年9月7日（金）
テ ー マ：イボとその類似疾患①
日 時：平成24年9月14日（金）
テ ー マ：イボとその類似疾患②
出 演：宋 寅傑（港北区綱島診療所 そう皮ふ科）

●第20回横浜臨床医学学術集談会

日 時：平成24年12月8日（土）
場 所：ホテルキャメロットジャパン
演 題：「診療中にレックリングハウゼン病を疑っても一詳しい説明は控えて」（座長：浅井俊弥）
講 師：澤田俊一（青葉区澤田皮ふ科）

3. 常任幹事会、企画委員会（例会準備会）、幹事会

●監査 幹事会・総会

日 時：平成24年4月7日（土）
場 所：関内新井ホール

●企画委員会

日時：平成24年4月11日（水）
場所：横浜ベイシェラトン&タワーズ

●例会準備会

日時：平成24年9月5日（水）
場所：ホテルプラム／コスモY

●例会準備会・常任幹事会

日時：平成25年2月28日（木）
場所：ホテルニューグランド

（文責：渡辺知雄）



地域医会だより

鎌倉市皮膚科医会

平成24年度の活動はありません。

(文責：原 尚道)



地域医会だより

藤沢市皮膚科医会

●平成24年3月21日(水) 19:30～

場所：グランドホテル湘南

演題：「皮膚外用剤の適正使用」

講師：大谷道輝先生（東京通信病院薬剤部副薬剤部長）

●平成24年7月18日(水) 19:30～

場所：ザ・ホテル・オブ・ラファエロ・湘南

演題：「しみの話 ～最近のトピックス～」

講師：村上富美子先生（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院皮膚科部長・准教授）

●平成24年11月21日(水) 19:30～

場所：グランドホテル湘南

演題：「私の経験した症例あれこれ—ヘルペスウイルス関連疾患を中心に—」

講師：白濱茂穂先生（聖隷三方原病院副院長兼皮膚科部長）

(文責：小林誠一郎)



地域医会だより

川崎市皮膚科医会

川崎市皮膚科医会10周年記念総会・学術講演会（第16回川崎市皮膚科医会例会）

川崎市皮膚科医会は昨年創立10周年を迎え、平成24年10月3日（水）に川崎日航ホテルに於いて、第10回川崎市皮膚科医会定時総会・第16回川崎市皮膚科医会例会学術講演会を開催しました。

望月明子会長の挨拶の後、来賓としてお越しいただいた宮川弘一先生（川崎市医師会副会長）、中岡康先生（川崎市外科医会会長）、増田智栄子先生（神奈川県皮膚科医会副会長）よりご祝辞をいただきました。

総会は石橋正史先生（日本鋼管病院皮膚科部長）が議長として選出され、第1号議案平成23年度会務報告に関する件以降第5号議案役員人事に関する件まで円滑に承認され無事終了しました。

講演会は清佳浩先生（帝京大学附属溝口病院皮膚科教授）が座長となり、佐藤伸一先生（東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学教授）に「膠原病の皮疹の系統のみかた—抗ヒスタミン薬の使い方も含めて—」という演題でご講演頂きました。内科など他科の先生にもわかりやすく、とても役立つ講演会となりました。

その後の情報交換会は木村美根雄先生（川崎市医師会副会長）、羽鳥裕先生（内科医会会長）、里村俊彰先生（整形外科医会会長）、藤岡治先生（耳鼻科医会会長）などにご祝辞をいただき、いつまでも賑やかにつつがなく終了しました。

（文責：井上奈津彦）



地域医会だより

三浦半島皮膚科懇話会 横須賀市医師会皮膚科部会

今回は第141回神奈川県皮膚科医会との共催になりました。

第44回三浦半島皮膚科懇話会 第27回横須賀市医師会皮膚科部会

日 時：平成25年3月3日（日）14：00～

場 所：関内新井ホール

テーマ「ほんとは面白い皮膚真菌症」

ミニレクチャー：「ウイルス性発疹症 最近の話題」

講 師：浅井俊弥（浅井皮膚科クリニック）

座 長：宮沢めぐみ

講演 1：「セロテープは真菌検査の強い味方」

講 師：藤広満智子（揖斐厚生病院皮膚科部長）

座 長：高橋泰英

講演 2：「皮膚真菌症の診断—不易流行」

講 師：望月 隆（金沢医科大学皮膚科部門教授）

座 長：畑 康樹

共 催：マルホ株式会社

日々の診療にも即役立つ講演で参加された先生方にも好評でした。

（文責：黒澤伝枝）



地域医会だより

小田原市皮膚科医会

平成24年度は、学術講演会を下記のとおり開催いたしました。

1. 小田原医師会皮膚科医会学術講演会

日 時：平成24年7月6日（金）

場 所：報徳二宮神社 報徳会館

演 題：「水痘・帯状疱疹ウイルス感染症について」

講 師：本田まりこ先生（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター皮膚科教授）

座 長：戸澤孝之先生（戸澤皮膚科院長）

共 催：マルホ株式会社

参加人数：32名

帯状疱疹と言えばお決まりのように出していた消炎鎮痛剤に対する考え方が変わった瞬間でした。

2. 足柄上医師会・小田原医師会合同学術講演会

日 時：平成24年8月27日（月）

場 所：報徳二宮神社 報徳会館

演 題：「よく診る皮膚疾患の診断と治療」

講 師：戸倉新樹先生（浜松医科大学皮膚科学教授）

座 長：日下部芳志先生（日下部皮膚科院長）

共 催：田辺三菱製薬株式会社

参加人数：45名

よく見る皮膚疾患について他科の先生方に分かりやすく説明していただきました。もちろん大好評！

3. 足柄上医師会・小田原医師会合同学術講演会

日 時：平成24年11月15日（木）

場 所：報徳二宮神社 報徳会館

演 題：「薬疹の多彩な世界」

演 者：相原道子先生（横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教授）

座 長：日下部芳志先生（日下部皮膚科院長）

共 催：グラクソ・スミスクライン株式会社

参加人数：32名

本当は難しい話を分かりやすくしかも短時間でお話し下さる相原先生にいつもながら感動です。

どの講演会も他科の先生方の出席が多く、わかりやすいご講演に皆様満足され、大好評でした。

（文責：相川洋介・大林寛人）



地域医会だより

茅ヶ崎医師会皮膚科部会

●講演会

日時：平成24年6月12日（火）

場所：茅ヶ崎ラスカ6階 サロンA

演題：「私の経験した症例あれこれ ～ヘルペスウイルス関連疾患を中心に～」

講師：白濱茂穂先生（聖隷三方原病院皮膚科部長）

●症例検討会

日時：平成24年10月30日（火）

場所：茅ヶ崎市立病院 皮膚科外来

講師：池澤優子先生（茅ヶ崎市立病院皮膚科部長）

（文責：小野秀貴）

○ ○ ○ ○ ○
地域医会だより

平塚市医師会皮膚科部会

第59回例会 テーマ「皮膚科医だからわかる、美容皮膚科の効果と限界」～ニキビ治療も含めて～

日 時：平成24年5月23日（水）

場 所：平塚プレジール

司 会：木花いづみ（平塚市民病院）

1. 製品紹介（18：50～19：00）尋常性ざ瘡治療剤「ディフェリンゲル0.1%」について

2. 総会（19：00～19：10）

3. 特別講演（19：10～20：20）

講師：川島淳子先生（かわしま皮膚科院長）

〈要旨〉

切らない美容医療は、注目を集めている領域で、新たな治療法や機器の開発がめざましい。ただし技術の修得については、医師個人の自発的な努力、経験に依存し、ばらつきがある。対象疾患は、シミ・シワ・ニキビなど、中高年患者では肌の悩みは多岐に亘り、複数の治療法を組み合わせる（ケミカルピーリング、IPL、レーザー、注入剤）。やり過ぎを避け、治療することが肝要。

4. 一般演題（20：20～20：30）「平塚共済病院の美容皮膚科への取り組み」

福永有希先生（平塚共済病院）

5. 情報交換会（20：30～21：30）

出席者：26名

共 催：平塚市医師会皮膚科部会、塩野義製薬株式会社

第60回例会 テーマ「乳幼児に比較的良好に見られる形成異常・腫瘍」

日 時：平成24年9月26日（水）

場 所：グランドホテル神奈中平塚

司 会：黒木のぞみ（平塚共済病院）

1. 一般演題（19：00～19：15）「プロトピック軟膏の使い方のこつ」

講師：栗原誠一先生（湘南皮膚科）

2. 特別講演（19：15～20：15）

講師：馬場直子先生（神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター）

〈要旨〉

出生直後から2～3年の間に現れてくる比較的頻度の高い皮膚の形成異常・腫瘍についてお話しさせていただきます。まず形成異常では、肛門垂や小児指線維腫症のようにいずれ自然消退するので経過観察していればいいもの、副耳や側頸嚢胞のように将来切除すべきもの、仙骨部皮膚洞のように皮膚以外の合併症が高率なためすぐに他科を紹介すべきものなどがあり、その見極めが大切かと思えます。腫瘍では、もっとも頻度が高い石灰化上皮腫と皮様嚢腫は局所麻酔が出来る年齢になってからの待機手術でよいと思いますが、出生直後から出てくる髄膜瘤や乳児白血病の皮膚病変、ランゲルハンス細胞組織球症を見落とさないことが肝要と思われま

す。若年性黄色肉芽腫と肥満細胞腫も頻度が高い腫瘍ですが、自然消退を待つのみでよく、ただし後者では抗ヒスタミン血症による随伴症状に注意が必要です。今日は、多くの症例写真をご覧いただき、先生方の日常診療に少しでもお役に立てれば幸いに存じます。

3. 症例報告 (20:15~20:30)

「ギムザ簡易染色(篠法)による水痘、帯状疱疹、単純ヘルペスの診断例」

講師：宮本秀明先生(宮本皮フ科)

「胸鎖関節部に生じた先天性皮膚瘻孔」

講師：伊勢美咲先生(平塚市民病院)

4. 情報交換会 (20:30~21:30)

出席者：41名

共催：平塚市医師会皮膚科部会、マルホ株式会社

第61回例会 テーマ「皮膚症状から疑う悪性腫瘍」

日時：平成25年1月23日(水)

場所：平塚プレジール

司会：小島雅彦(こじま皮膚科クリニック)

1. 製品紹介 (19:00~19:15) 「外用副腎皮質ホルモン剤 アンテベート0.05%について」

2. 特別講演 (19:15~20:15)

講師：日野治子先生(関東中央病院皮膚科特別顧問)

〈要旨〉

皮膚は内臓病変を如実に表すキャンバスでもある。デルマドロームという便利な用語は1947年K.Wienerによって創られた言葉で、皮膚症状は内臓疾患の診断に役立つことを示した。内臓疾患の直接的影響による皮膚病変としては内臓癌の皮膚転移が挙げられる。未だ決定的な解明がされていないが内臓病変の反応として出現する疾患は多数あり、最もよく知られているものとして皮膚筋炎が挙げられる。出来る限り多くの症例、病変を提示し、皮膚病変から内臓疾患を推察するヒントになれば幸いである。

3. 症例報告 (20:15~20:30)

「皮膚筋炎～当院経験症例のまとめ～」

講師：木花いづみ先生(平塚市民病院)

4. 情報交換会 (20:30~21:30)

出席者：45名

共催：平塚市医師会皮膚科部会、鳥居薬品株式会社

(文責：福永有希)



地域医会だより

厚木市皮膚科医会

平成24年度報告

●皮膚科医会例会

第32回厚木市皮膚科医会

日時：平成24年5月24日（木）

場所：レンブラントホテル厚木

演題：「私の経験した症例あれこれ－ヘルペスウイルス関連疾患を中心に－」

講師：白濱茂穂先生（聖隷三方原病院皮膚科部長）

第33回厚木市皮膚科医会

日時：平成24年11月29日（木）

場所：レンブラントホテル厚木

演題：「アトピー性皮膚炎におけるプロトピック軟膏の位置づけ」

講師：川上民裕先生（聖マリアンナ医科大学皮膚科准教授）

●医療フェスティバル委員会参加

ただし本年度より皮膚科は2年に1回の参加となり、本年は参加せず。準備委員会には参加。

●厚木愛甲地区専門校医事業参加

FAX相談、父母代表、校長代表、養護教諭代表、医師で年4回の会合。

日時：平成24年2月29日（水）

学校講演会〈三田小学校にて〉

教諭、父母向けに「おしゃれトラブル」の講演。

●厚木市医師会学校医部会講演

日時：平成24年11月8日（木）

「おしゃれトラブル」に関して校医、養護教諭などを対象にして講演。

（文責：小幡秀一）



地域医会だより

丹沢皮膚の会

現在、活動を休止しています。

(文責：山本 修)



地域医会だより

相模原市医師会皮膚泌尿器科医会

平成24年度講演会の記録

●日時：平成24年4月18日（水）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：「ED治療戦略」

講師：岩崎 皓先生（横浜市みなと赤十字病院泌尿器科部長）

●日時：平成24年6月20日（水）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：「アトピー性皮膚炎 最近の知見」

講師：中村晃一郎先生（埼玉医科大学皮膚科教授）

●日時：平成24年9月19日（水）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：「水痘・帯状疱疹ウイルス感染症について」

講師：本田まりこ先生（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター皮膚科教授）

●日時：平成24年11月21日（水）

場所：小田急ホテルセンチュリー相模大野

演題：「痒疹－わからない・なおらない対策」

講師：浅井俊弥先生（浅井皮膚科クリニック院長）

●日時：平成25年2月20日（水）

場所：ホテルザエルシィ町田

演題：「性器ヘルペスの診断と治療」

講師：松尾光馬先生（東京慈恵会医科大学皮膚科学教室講師）

上記以外には北里大学皮膚科学教室の御厚意にて、北里臨床皮膚フォーラム、相模原皮膚科学セミナー、神奈川臨床皮膚病理組織検討会などに参加させて頂きました。

また平成24年11月には1泊2日の会員親睦を兼ねた研修旅行を箱根にて実施しました。

(文責：大木 和)